



詩を朗読する谷川俊太郎さん(2015年2月)

言葉の奥深さ 楽しさ 伝える

「ニュースなぜなに」

もありました。10代で詩作を始め、20歳ではじめての詩集「二十億光年の孤独」を発表すると、たちまち注目されました。

「朝のリレー」という詩は、中学校の国語の教科書にものりしました。世界各地の子どもの様子をえがきながら「この地球では／いつもどこかで朝がはじまっている」と結び、さわやかさとスケールの大きさを感じさせる作品です。

子ども向けの本にも力を

親しみやすい言葉づかいで、日本を代表する詩人として知られた谷川俊太郎さんが昨年11月13日、92歳で亡くなりました。学校の教科書にも多くの詩が採用され、日本語の奥深さや楽しさを多くの人たちに伝えました。



谷川俊太郎さんの作品。詩だけでなく絵本や翻訳も数多く手がけた

10代で詩を始める 昨年亡くなった詩人・谷川俊太郎さん

1931年に東京で生まれ、中学生の時には戦争のため、京都に疎開したこと

10代で詩を始める

絵本「スイミー」や、スヌーピーとチャーリー・ブラウンが人気のコミック「ピーナッツ」の翻訳も手がけました。「空をこえて

入れました。73年の「ことばあそびうた」は、ひらがなばかりのユニークな本です。「はなののののはな／はなのななあに」(のののな)や「いるかいるか／いないかいるか」(いるか)などの詩が特に有名です。

長男で音楽家の賢作さんとともに、日本各地で詩を音読する会を開きました。多くの詩集が英語や中国語などに訳され、海外でも広く知られた詩人でした。日本国内だけでなく、中国でも文学賞をもらっています。亡くなる直前まで、詩を作り続けていました。

谷川俊太郎さんの言葉

万有引力とは

ひき合う孤独の力である

二十億光年の孤独に

僕は思わぬくしやみをした

「二十億光年の孤独」

カムチャツカの若者が

きりんの夢を見ているとき

メキシコの娘は

朝もやの中でバスを待っている

(中略)

この地球では

いつもどこかで朝がはじまっている

「朝のリレー」

生まれたよ ぼく

やつとここにやつてきた

(中略)

ぼくは知っている

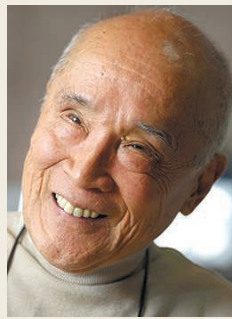
ここがどんなにすばらしいところか

だから邪魔しないでください

ぼくが泣くのを ぼくが泣くのを

ぼくが誰かを好きになるのを

「生まれたよ ぼく」



谷川さん(右は若い頃)

「生」を祝福する詩作り続けた

70年以上にわたって詩を書き続けてきた谷川さん。それは、詩とは何かを考え、えたいの知れないこの世界を生きることを祝福しようとした人生でもありました。

「宇宙はどんどん膨んでゆく／それ故みんなは不安である／二十億光年の孤独に／僕は思わずくしゃみをした」(「二十億光年の孤独」)

この詩が表現するのは、果てしなく広いこの世界で人間が感じるさみしさですが、そんな不安をつかのまふき飛ばすような「くしゃみ」という言葉が心に残ります。

「生まれたよ ぼく」がえがくのは、生まれてきたばかりの子ども目から見た、みずみずしい世界。すべての人が幸せになることをだれも邪魔してはいけないと、この詩は言っているようです。

スポーツ

新春の風物詩となっている東京箱根往復大学駅伝で青山学院大が10時間41分19秒の大会新記録で、2年連続8度目の総合優勝を果たしました。原晋監督は「駅伝はチーム戦。こんなに幸せなことはない」と学生と喜びを分かち合いました。

箱根駅伝は東京の大手町から神奈川県箱根町ま

箱根駅伝 青学大が総合2連覇



どう上げされる青山学院大の原晋監督=3日、東京・大手町

での片道約110キロを往復。合計10人のランナーがたすきをつないで、競います。2日の往路では青山学院大は、山登りの5区で区間新の走りでトップに立ちました。3日の復路は山下りの6区で従来の区間記録を30秒更新。後続との差を広げ、その後も安定した走り逃げ切りしました。6区で大会初の56分台をマークした野村昭夢選手は「今年は山勝負で、山で突き放せるかが鍵だと思っていた」と、2連覇に胸を張りました。

社会

最大震度7を観測し、石川、新潟、富山3県で500人以上が亡くなった能登半島地震は1日で、発生から1年になりました。地震と9月の記録的豪雨で多くの人が犠牲となった石川県は、同県輪島市で追悼式を開きました。

追悼式には地震と豪雨の犠牲者遺族317人と、石川県の馳浩知事、石破茂首相ら計445人が出

能登復興「半歩ずつ」 地震発生から1年 輪島市で追悼式



席。地震が発生した午後4時10分に全員で黙とうしました。

遺族代表の小林由紀子さん(53)=穴水町=は、夫と一緒に営業する衣料品店を仮設商店街で再開したことにふれ「半歩ずつだが、店を守り抜き、地域とともに歩む」と、復興への決意をのべました。

地震の住宅被害は石川県を中心に15万棟を超えています。土砂崩れなどで生活を支える道路や施設などの被害が大きく、住みなれた地域に戻れない住民もいます。

科学

2025年に国際宇宙ステーション(ISS)に約半年間滞在する予定の日本人宇宙飛行士大西卓哉さん(49)が、ISSの船長を務めることが決まりました。宇宙航空研究開発機構(JAXA)が発表しました。

ISSの船長は、国も経験もちがう飛行士を一つのチームにまとめる大切な仕事で、日本人が

大西さんISSの船長に 日本人3人目 宇宙に半年滞在



ISS滞在などについて語るJAXAの大西卓哉宇宙飛行士

担当するのは若田光一さん(61)、星出彰彦さん(56)に

大西さんのISS滞在は2回目。船長としては「縁の下力持ち」としてチーム全体を支える自分らしいスタイルで職務に

大西さんはアメリカとロシアの飛行士計3人とともに、25年3月下旬以降に宇宙船クルードラゴンでISSに向かう見通し。滞在中の飛行士らと交代し、科学実験など多くの仕事に取り組みます。



自然の中に発見が

薬をつくる会社「興和」(名古屋)が、ミノムシの糸を使った繊維を世界で初めて売り出すと発表した。ミノムシはガの幼虫で、巣を作る時に口から細い糸をはき出すんだ。丈夫で、天然のものだから環境にもやさしいんだって。スポーツ用品や飛行機の部品などに使われるみたい。自然の中には、まだまだおどろくような発見がたくさんありそう！

山陰中央新報製作センター見学施設 しんぶん学問館

山陰中央新報の見学施設「しんぶん学問館」(出雲市斐川町上庄原)は、展示コーナーや設備の見学を通して、紙面作りや印刷の仕組みを学ぶことができます。

山陰中央新報を印刷している「山陰中央新報製作センター」に併設され、大型ディスプレイで映像を見られる視聴覚ホール、過去の大きなニュースを伝えた紙面をはじめとした各種展示コーナーなどがあります。月曜日から金曜日まで(祝日を除く)見学を受け付けています。



重要ニュース紙面展示コーナー

山陰中央新報や前身の新聞は、140年以上にわたって国内外のさまざまな出来事を報じてきました。竹下登首相の誕生、くにびき国体、山陰地方を襲った災害などを伝えた紙面を展示しています。



カラー印刷の輪転機模型

カラー印刷の仕組みを輪転機の模型で解説します。模型は高さ1.8メートルで、4色を印刷するローラーが上から並んでいます。ローラーの回転に合わせて紙が動き、4色を重ねて印刷する仕組みを理解してもらいます。

主な展示・設備

- 1階
- 創刊号パネル
 - 記念日新聞コーナー
 - 重要ニュース紙面
 - 活字など印刷資料
 - 巻き取り紙
 - 多目的ホール
 - 活版印刷機

時間 月一金曜日(祝日除く) 午前10時～午後2時半

人数 1日2団体まで 1回の来館者は40人まで

内容 館内見学、新聞教室

予約 電話で受け付け (平日午前9時～午後5時)

- 2階
- さんさんホール(188デイスプレー設置)
 - 組版体験コーナー
 - 輪転機模型
 - インキ

予約・問い合わせ先

山陰中央新報製作センター

(出雲市斐川町上庄原1318)

電話 0853(73)9331